

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
2	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害枯損木処理事業
事業費 1,028,940 円 (うち支援金: 920,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

町内の松くい虫被害が深刻となっており、特に枯損木による建物や墓石の倒壊および道路等ライフラインへの影響が懸念される。

(2) 本事業の目的

町内の家屋・道路等のライフラインに将来的に影響がある松くい虫被害枯損木の伐倒処理を行う。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 町内全域

(2) 対象者 長和町

(3) 実施方法

松くい虫被害枯損木を特殊伐採等により伐倒処理

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 4 年度)

長和町内の道路沿い・住宅沿い・墓地等の松くい虫被害枯損木の伐倒処理

②令和 3 年度実績

松くい虫被害枯損木処理 49 本



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい虫被害枯損木の伐倒処理を行い、町民の安全保持と景観の美化を図る。

(2) 継続性

当町では、伐倒くん蒸等により、松くい虫被害木の処理をおこなっているが、伐倒くん蒸の事業で実施できない松くい虫被害枯損木の伐倒処理事業を行う。

今後も町内の安全保持と景観美化のため整備を行っていく。

(3) 普及性

国道沿いにある枯損木を処理することで、町民のライフライン等の保全対策となるだけでなく、町内及び県内へ観光で訪れる方々に対しても、美しい景観と安全を提供することができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

建物や道路、電線などのライフラインへの被害防止のため、伐倒くん蒸処理事業を実施できない危険箇所の松くい虫被害枯損木の特殊伐採処理を行うことでライフライン及び住宅等への被害を防止し、景観の美化を図ることができた。

(2) 課題

引続き、町内の松くい虫被害対策事業を実施するとともに、危険箇所等の枯損木処理を行うことで住民に安全を提供していきたい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

松くい虫被害枯損木を処理し、倒木等被害未然防止に努めていく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
3	森林を支える豊かな地域づくり	星糞峠縄文森林公園整備事業
事業費 196,900 円		(うち支援金 133,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

星糞峠縄文森林公園は、ミズナラやカシワなどの広葉樹が主体となっており、ここに通じる遊歩道の整備や公園等の整備として、除間伐等を継続して行っている。

(2) 本事業の目的

公園整備を継続して行うことにより、森林に触れる機会の提供や、市町村を超える広域的な利用を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 : 長和町大門追分地籍

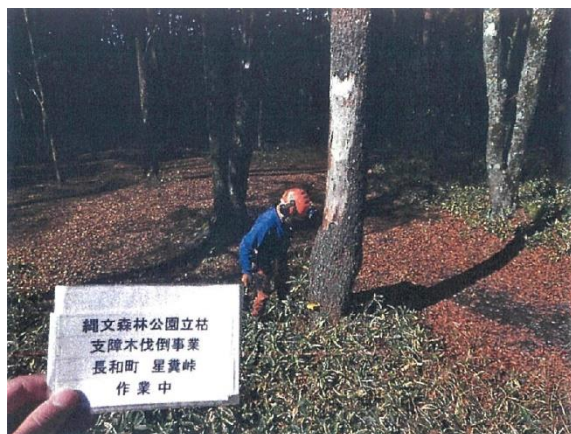
(2) 対象者 : 土地所有者 長和町

(3) 実施方法 : 町内林業業者へ委託

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 29 年度～令和 4 年度)

②令和 3 年度 実績 遊歩道の整備 (除間伐と伐採後の集積木の破砕処理)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

星糞縄文森林公園を県産材で整備することにより、当地域の自然環境の歴史を伝えることになり、また、県産材産材の良さをPRし、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上及び市町村を超える広域的な利用が図れる。

(2) 継続性

平成25年度の全体計画設計に基づき、継続的に星糞縄文森林公園の整備を行ってきた。昨年度から補助金の減額により事業を縮小し、遊歩道周辺を優先として立枯れた樹木及び支障木の徐間伐を行ってきた。

令和3年度についても継続して遊歩道周辺の徐間伐事業を行う。

(3) 普及性

この公園では、史跡の見学や開催イベントに参加する方が全国から訪れるため、公園整備は信州の森林に触れる機会の提供や広域的な利用に結びついている。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

公園利用者の安全を確保するとともに、美しい森の景観整備が進んだ。

(2) 課題

樹齢80年を超える太い松の木の立枯れが進んでおり、公園利用者の安全確保が大きな課題とされている。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

当初の森林整備計画書に従って、森林の状況を観察しながら、公園利用者の安全確保と森林の自然に触れる環境整備を継続的に行う。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

長和町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	古町有坂山公園整備事業
事業費 99,000 円 (うち支援金 75,000 円)		

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

古町有坂山公園は、マルメロの駅なかと、長門温泉やすらぎの湯の北西に位置し、近隣の住民や観光で訪れる方の目に触れる場所にあり、全町桜運動において山桜の植栽を行ったが下草が伸び整備が必要な状況となっている。

(2) 本事業の目的

この公園の択伐・下草刈り等を行い整備し、山桜の保護と景観の保全を図る。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 長和町古町有坂山公園

(2) 対象者 土地所有者 長和町

(3) 実施方法

森林公園の択伐、下草刈り等を行い、山桜の自然保護と景観の保全を図る。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30 年度～令和 3 年度)

平成 30 年度 (北側) 約 5 ha

令和元年度 (南側) 約 4 ha (公園面積 16.9ha)

令和 2 年度 (北側及び南側) 約 9 ha の下草刈り等整備及び山桜の補植

令和 3 年度 (北側及び南側) 約 9 ha の下草刈り等整備

②令和 3 年度実績 約 9 ha



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

古町有坂山公園を整備することにより、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上及び市町村を超える広域的な利用が図れる。

(2) 継続性

平成30年度～令和3年度にかけてマルメロの駅ながと、長門温泉やすらぎの湯の周辺にある町有林の整備を計画している。

(3) 普及性

マルメロの駅ながと、長門温泉やすらぎの湯の北西に位置し、近隣の住民や観光で訪れる方の目に触れる場所にあり、森林づくりに関する地域住民等の意識を高め、森林に触れる機会の向上が見込まれる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

マルメロの駅ながと及び長門温泉やすらぎの湯の北西に位置する、古町有坂山公園を整備することにより、森林づくりに関する地域住民等の意識を高めるとともに、山桜を植栽することで、自然保護と景観向上に向けた取組みを実施することができた。

(2) 課題

引続き、整備及び植栽箇所の維持管理をしていく必要がある。

また、植栽した山桜について、シカによるものとみられる食害が発生している。補植及び防護ネット等の対策を講じたものについては食害を免れているため、次年度以降も補植やネットによる防護を行いつつ事業を進める。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

平成30年度、令和元年度整備箇所の維持管理及び公園整備を継続して行う。併せてシカの食害に対する防衛策を立てて実施する。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない